

グアムで学んだこと

福井 丈慈 (中学1年)

僕のカウンターパートの名前はジョシュアです。ジョシュアのお姉さんもグアム生として、2年前に柏に来ていました。フリーデイには、僕は綺麗な写真を撮りたいと伝えたので、たくさんの綺麗なスポットに連れて行ってもらいました。

まず、ジョシュアのお母さんが働いている観光スポットの Latte of Freedom に連れて行ってもらいました。ここは、ラテストーンの形をした大きな展望台がある場所で、グアム知事の執務室があるグアム政府オフィス の敷地内にあります。上からの眺めは最高で、片方にはグアムの街並みを一望できて、さらにもう片側には日本では絶対見れない様なきれいすぎる海が広がっていました。そして、そこには小さな歴史コーナーのようなものがあり、歴代のグアム知事たちなどの写真や、グアム各地で発見された昔の道具などがたくさん 展示されていました。そこで、僕は木でできた立派な椅子があったので、これは何かと聞くと、「それは、グアム知事がサインする時に使った椅子だよ。」と言ったので僕は驚き、ここは凄い場所なんだなと思いました。その他にも、グアムの伝統的な船の大きい模型もありました。

そして、建物から下に降りると、戦争で使われた大きな大砲があったり、防空壕もありました。ジョシュアのお兄さんが軍隊に所属していたことがあったため、戦争に関するスポットにも連れてってもらいました。そこには戦争で戦死した兵隊全員の名前が刻まれていました。他には、戦争の歴史博物館に行きました。そこには、風化した飛行機のエンジンや ボディーが散らばって落ちていました。そこにいた人に話を聞くと「これは集めたのでは無く全て元々あったものなんだよ。」と教えてくれました。つまり、戦争時のそのままの姿をしているということです。それを見て、急に身近なものに感じられ、戦争の恐ろしさを感じました。また、そこには戦争で使われた実際の武器が見れるコーナーがありました。銃で撃たれた跡などがある軍服が あったり、それ以外にも車に装備して飛行機などを打ち落とすためのとても大きい重火器がありました。もちろん、観光をするだけでなく、毎日の生活を通してホストファミリーとの交流を深めることができました。全体のプログラムではチャモロ文化について学び、フリーデイにはこのようにグアムの歴史についても学ぶことができ、とても良い経験になりました。これからも、ジョシュアや ジョシュアの家族と交流を続けていきたいです。

ホストファミリーと

